

環境に優しいホテル経営—経済性と環境保全の両立

中国石油大学学生代表

見学日時：2023年12月5日（火） 9:30-11:30

見学場所：ホテルニューオータニ東京

見学概要

ホテルニューオータニにおいて私たちは廃水浄化、自家発電及び生ごみの堆肥処理との3つの施設を見学した。

まず初めに私たちは廃水浄化施設を見学した。ホテルニューオータニには1400を超える客室、37のレストランそして33の宴会場があり、毎日約1000トンの廃水が生み出される。そしてこれらの廃水は微生物による油分の分解や沈殿等のプロセスを経て中和水となり、ホテル内のトイレや敷地内の灌水に利用されている。

次に、自家発電施設を見学した。ホテルにおける一部の電力は3台のタービン発電機によって提供されている。発電機のエネルギーは天然ガスと灯油で、価格に基づき発電に使用するエネルギーを調整している。過度の電力利用により電力供給が不足した際及び災害の発生により停電となった際に、ホテルの発電装置は緊急用の電力を供給することが可能となっている。

最後に生ごみの堆肥処理施設を見学した。ホテルニューオータニでは毎日約5トンの生ごみが生み出されるが、これらの生ごみを3～4日乾燥させた後で発酵処理し得られた堆肥を契約農家に提供し、そこで生産された野菜はホテルの社員食堂などに提供されている。



廃水浄化施設

ご存じですか？

問：ホテルの利用者が使用するのは水道会社が直接提供する水なのか？

答：ホテルニューオータニでは水道会社の水を直接提供することではなく、水道水をさらに殺菌した後でお客様に提供している。

問：廃水の浄化により得られた中和水及び生ごみの処理により得られた堆肥で作られた野菜はホテルの利用者に提供されるのか？

答：これらの野菜はホテルの利用者ではなく社員用として提供されている。これらの水や野菜は安全なものだが、お客様にはより良いものを提供している。

問：ホテルニューオータニが実施しているエコ活動は環境保全のみを目的としているのか？

答：ホテルニューオータニがこれらのエコ活動への取り組みを始めた当初は、グリーン発展の理念は現在ほど主立ったものにはなっていなかったが、その後こうした措置は経費の節減や環境の保護にもつながることが分かり、今日まで継続されていると共にますます大規模に優れたものとなっている。現在ではホテルニューオータニのエコ度は日本のホテルの中でもトップクラスとなっている。

感想

ホテルニューオータニ東京はその規模がとても大きく、毎日生み出される大量の廃水や生ごみの処理は非常に重要なものとなっている。ホテルニューオータニは進んだ技術を活用し廃水や生ごみを処理することで廃水処理場やごみ処理場の負担を減らすのみならず、それ以上にグリーン発展の理念を体現している。経済性を大きく高めると同時にグリーン発展の理念を普段の生産や生活に運用するといった経済性と環境保全の両立ができてこそ、質の高い発展が可能となる。

ホテルニューオータニのグリーン発展に関する措置は、経済効率と環境効率は矛盾するものではないことを私たちに告げている。ホテルニューオータニの廃水や生ごみへのリサイクル措置は資源の利用効率を高め、無駄を減らしている。これは廃水処理及びごみ処理の経費を減らす他、また環境汚染を適切にそして効果的に減らすことにもつながっている。さらにホテルニューオータニは社会的責任を積極的に担い、利用者の環境保全への期待に応えることで優れた企業イメージを確立するなど、自身の競争力及び影響力を高めている。



ホテル内の日本庭園の様子



全団員による日本庭園での集合写真